

たくましく豊かに伸びる滝呂の子ども
～考え方の豊かさ～
4本柱「まんぞく授業」「さきがけあいさつ」
「ピカピカそうじ」「げんきな体と心」

<http://school.city.tajimi.lg.jp/takiro/>
2026.1.29 第11号

多治見市消防出初式

校長 鈴木雄詞



消防出初式は、市民に対する防火の意識を高めることを目的として、団員による行進や、消防車による車列行進、ポンプ車による一斉放水など、地区の消防団の皆さんのが日頃の訓練の成果を披露する消防活動の1年の始まりの式です。滝呂小学校の4年生は、滝呂少年消防クラブとして市内で唯一参加し続けてきましたが、学校としての活動は今回をもって最後となりました。4年生有志の皆さん、練習以上にかっこよくできました！

SNSと子ども

現代社会において、私たちの生活とSNSは切っても切り離せないものになってきました。同時に子どもたちにとっても、大変興味のある“もの”となっています。ご家庭において、お子さんにスマホやタブレットなどの端末を与えるかどうかは保護者の判断になりますが、小学生のお子さんにそれらを与えるときは、どうか慎重に、丁寧に約束等を話し合い、与えた後も保護者による継続的な管理を切にお願いしたいと思います。

なぜなら、近年、児童のSNS上のやりとりにおいて、不特定が見られるサイトに身近な人の実名を投稿したり、「学校で嫌いな人・嫌な人は誰か」といった内容を書き込んだりするケースが見られ問題となることがあるからです。

子どもたちにとっては軽い気持ちや、仲間内だけのつもりの投稿や書き込みであっても、放っておくと次のような危険性につながる恐れがあります。

- ①個人情報が拡散される危険…広く拡散するうえ完全に消すことは難しい。
- ②誹謗中傷・いじめに発展する危険…深く人を傷つけ事態が大きくなる可能性がある。
- ③トラブルが学校生活に影響する危険…友人関係がこじれ教室で過ごしづらくなる。
- ④犯罪や二次被害に巻き込まれる危険…感情的な投稿や人間関係がわかる情報は、悪意のある第三者の標的になる可能性がある。

しかも、子ども自身ではこれらの危険には気付きにくいものです。ご家庭におかれましては、「自分や他人の名前を絶対に投稿しない」「ネット上の言葉は相手の心を深く傷つけることがある」「誰かが嫌いというようなマイナスの感情をネット上に出さない」といった点について、日常の中でお子さんと話し合っていただければと思います。大変な作業ですが、お子さんがどんなサイトを見ているのか、不適切な投稿をしていないか等の見届けを継続して行うことが大切です。共に頑張りましょう。ご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

(学校HP→)

